

令和4年度 活動計算書

令和4年6月1日から 令和5年5月31日まで

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター  
(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	24,000		24,000
賛助会員受取会費			0
2. 受取寄附金			
きらきら基金助成寄附金	341,274		341,274
きらきら基金運営寄附金	0		0
一般寄附金	6,000		6,000
3. 受取助成金等			
受取民間助成金			0
4. 事業収益			
みえNPOネットワーク参画支援事業	49,160		49,160
桑名市委託事業	7,050,000		7,050,000
サンタの行進事業	4,375		4,375
ガチャボン募金事業	5,500		5,500
缶バッジ事業	0		0
コーヒー寄付事業	69,123		69,123
5. その他収益			
受取利息	32		32
雑収益			0
経常収益計	7,549,464	0	7,549,464
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	4,953,700	0	4,953,700
法定福利費	347,408		347,408
福利厚生費			0
人件費計	5,301,108	0	5,301,108
(2) その他経費			
売上原価			0
会議費	16,700		16,700
旅費交通費	218,000		218,000
新聞図書費	8,500		8,500
消耗品費	580,633	0	580,633
賃借料	82,960		82,960
研修費	0		0
通信費	346,665	0	346,665
印刷費	202,883	0	202,883
支払報酬	45,000		45,000
外注費	228,285	0	228,285
保険料	0		0
支払手数料	13,969		13,969
租税公課	0		0
諸会費	10,000		10,000
きらきら基金助成金	231,200		231,200
サンタの行進	0		0
缶バッジ販売	0		0
コーヒー寄付助成金	43,982	0	43,982
講師謝金	0		0
雑費	0		0
その他経費計	2,028,777	0	2,028,777
事業費計	7,329,885	0	7,329,885
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当		0	0
法定福利費			0
福利厚生費			0
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
売上原価			0
会議費			0
旅費交通費			0
消耗品費			0
賃借料	1,740		1,740
研修費			0
通信費	46,308		46,308
印刷費	0		0
外注費	240,000		240,000
保険料			0
支払手数料	1,320		1,320
租税公課	2		2
諸会費	0		0
講師謝金	0		0
雑費	0		0
その他経費計	289,370	0	289,370
管理費計	289,370	0	289,370
経常費用計	7,619,255	0	7,619,255
雑損失	5,535		5,535
当期経常増減額	△ 75,326	0	△ 75,326
<b>III 経常外収益</b>			
経常外収益計			
<b>IV 経常外費用</b>			
経常外費用計			
経理区分振替額	0	0	△ 75,326
法人税・住民税及び事業税			△ 72,000
当期正味財産増減額			△ 147,326
前期繰越正味財産額			2,969,822
次期繰越正味財産額			2,822,496

令和4年度 貸借対照表  
令和5年5月31日現在

特定非営利活動法人みえきた市民活動センター

科目・適用	金額(単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金	5,274,181	
缶バッチ在庫	0	
仮払金	214	
流動資産合計		5,274,395
資産合計		5,274,395
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金		
未払費用	26,633	
預り金	3,266	
前受金	2,350,000	
未払法人税	72,000	
流動負債合計		2,451,899
負債合計		2,451,899
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		
繰越一般正味財産	2,338,515	
繰越使途限定寄付金	631,307	
前期繰越正味財産合計額		2,969,822
当期正味財産		
一般正味財産	△ 267,275	
当期使途限定寄付金	119,949	
正味財産増減額		△ 147,326
正味財産合計		2,822,496
負債及び正味財産合計額		5,274,395

令和4年度 財産目録  
令和5年5月31日現在

特定非営利活動法人みえきた市民活動センター

科目	金額(単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	285,588		
普通預金三十三銀行桑名支店	286,023		
普通預金三十三銀行桑名支店	646,242		
普通預金三十三銀行桑名中央支店	3,293,432		
普通預金三十三銀行桑名中央支店寄付口座	762,896		
郵便局振替口座	0		
缶バッチ在庫	0		
仮払金	214		
前払費用	0		
流動資産合計		5,274,395	
<b>資産合計</b>			5,274,395
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払法人税			
県民税均等割	22,000		
市民税均等割	50,000		
短期借入金	0		
未払費用	26,633		
預り金	3,266		
前受収益	2,350,000		
流動負債合計		2,451,899	
<b>負債合計</b>			2,451,899
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産	2,338,515		
前期繰越使途限定寄付金	631,307		
当期一般正味財産	△ 267,275		
当期使途限定寄付金	119,949		
正味財産合計		2,822,496	
<b>正味財産合計</b>			2,822,496

これは財産目録である

令和5年5月31日  
特定非営利活動法人みえきた市民活動センター  
理事 小笠原 まき子

## 1. 重要な会計の方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協会)によっています。

### -1 無償もしくは著しく低い価格での財やサービスの提供の掲載について

当会は、市民活動の特徴のひとつである上記提供(いわゆる持ち寄り)によって、活動の大切な部分を支えています。ボランティアな活動は非営利の団体を非営利たらしめる重要な要素のひとつです。

そこで、同基準の重要性の原則に沿って、上記提供を可能な範囲で数値化し、当会の活動での人のうごきとそれを支える財やサービスの存在とを示すために、活動報告書に受入評価益を注記することになります。また、それに対応する受入評価費用も注記して相殺することで、実質的な資金のうごきがないことを示すことにします。

### -2 無償もしくは著しく低い価格での財やサービスの提供の取り扱いについて

十分に「合理的または客観的に算定できる」受入益のみを計算することで、実際に提供された受入評価益額よりもかなり小さくなっていますが、それらについても同基準の慣習法的な蓄積が少ないことから、今回は実際の資金のうごきとは別覧を設け、注記という形で示すことにします。また、適用覧だけでは十分に説明できないため、末尾にそれぞれの計算の根拠を添付して提示します。また、事業報告書についても、末尾にこれを補う詳細な報告を添付して提示します。

### -3 無償もしくは著しく低い価格での財やサービスの提供の金額への換算について

営利法人はその活動に必要なさまざまな経費が金額で換算されています。当会も含めて非営利法人の活動規模を比較可能にするため、原則として、営利法人が当会と同様の活動を行った場合に必要となる費用に換算して示すことにします。非営利団体ならこれぐらいだろうという現時点の、つくられた常識は、実際の非営利の活動をおとしめる非常識に低いものであることを示すためでもあります。

### -4 無償もしくは著しく低い価格での財やサービスの提供の種類について

上記の形態で当会に提供されたものは、今回は以下のとおりになります。けれども、これらについて勘案すれば、実際は受入評価益も受入評価費用も、支出科目に対応した種類があるのは自明です。しかし、今回は細かいものについて省くことにします。

ボランティア受入評価益	提供された人件費の額
交通費受入評価益	受入人件費が発生する場所に人が移動する必要な額
物品等受入評価益	提供された物品の額
通信費受入評価益	提供されたインターネット関連サービスの額と、通信に必要な額
施設等受入評価益	提供された地代家賃をリース料に換算した額
サービス受入評価益	提供された人件費に換算できないサービスの額

### -5 無償もしくは著しく低い価格で提供された人件費評価益について

それぞれの役務に必要な時間の算出について、実際に計測可能なものと平均でこれぐらいという推定の数字にもとづくものがあるので、末尾の計算根拠で判断できるよう注を示すことにします。また、受入人件費について、正味の役務時間であることから、業務毎に単価を設定して計算します。

1000円/時間	特に経験を必要とせず、通常の常識の範囲で対応できる業務
1200円/時間	3年ほどの経験を持ついわゆる若手スタッフが行う業務
1500円/時間	10年ほどの経験を持ついわゆる中堅スタッフが行う業務
2000円/時間	十分な経験を持ち、専門的な知識が必要な業務
5000円/時間	十分に専門的な経験と知識を持ち、他の者にかえ難い業務 (弁護士などの相談料の半分として設定した 10000円/時間)

#### -6 理事日当の受入人件費評価益について

特定非営利活動促進法上、理事の2/3以上は無報酬であることが定められています。事実、当会の理事は全員、報酬はありません。しかし、理事からボランティアに提供された役務は、現実の資金の移動を伴わないにもかかわらず、当会においては必要欠くべからざる活動の源泉であることから、理事会への出席なども受入人件費評価益に積極的に計上することにし、同法を精神を具体的な数字で見せていくことにします。

#### -7 使途等が制約された寄付金等について

身近で小さな市民活動団体への応援として少額を助成する「市民活動応援☆きらきら基金」事業を、重要な事業として位置づけて取り組んでいます。その助成原資を同基金事業に使うことを述べ募金をした結果寄付された金額については、その重要性から使途限定の寄付金とし、正味財産の扱いの中で、一般正味財産と区別した別項を設けてこれを表記することにします。

#### -8 委託事業の前受金処理について

当会の二期にまたがる事業では、終了後残額を返済するという条件がついた委託事業の前受金については、正確な当期の財政規模を示すという観点から、当期に使った額を収入経費として計上し、残額は、前受金と負債として処理をすることにします。

### 2. 重要な会計の方針の変更

重要な会計の方針は、本来、軽々に変えるべきではなく、一定のルールによって継続的に行われることにより、比較可能な説明資料としての意味を持ちます。当会が平成22年度より活動計算書を導入したのは、前項、重要な会計の方針で述べているように、「ボランティアな活動は非営利の団体を非営利たらしめる重要な要素」であり、その部分を数字に置き換えて説明可能な形に表示できることが重要と判断したからです。

しかしながら、今期もまた大きな事業に取り組まざるを得ず、いつまでたっても、残念なことに前項の(1)から(6)に掲げる「無償もしくは著しく低い価格で提供された財やサービスの金額換算」について、十分に時間をかけた対応ができなかったため、本活動計算書においてはこの計上を一時延期し、十分な対応を待ってこれを再評価することとしました。誠に申し訳なく、ステークホルダーのみなさまに謝罪申し上げます。後日の再評価をお待ちください。

#### 3. 事業費・管理費の内訳(別掲)

#### 4. 使途等が制約された寄付金等の内訳(別掲)

#### 5. 借入金の増減内訳(別掲)

3. 事業費・管理費の内訳

事業の種類	資源循環基盤整備事業	助成基金会計	他の収益の無い事業	他の収益のある事業			事業費計	管理部門	合計
	課税・非課税	非課税	非課税	課税	課税	課税			
按分比率	0.00%	なし	0.96%	97.94%	0.68%	0.00%	99.58%	0.42%	199.58%

経常収益									
科目	資源循環基盤整備事業	きらきら基金助成事業	他の収益の無い事業	桑名市市民活動センター運営支援	みえNPOネットワークセンター参画支援	缶/パッチ販売	事業費計	事務局費等	総合計
受取会費								24,000	24,000
きらきら基金助成寄付金		341,274					341,274		341,274
きらきら基金運営寄付金							0		0
一般寄附金							0	6,000	6,000
助成金							0		0
委託事業収入①みえNPOネットワークセンター					49,160		49,160		49,160
委託事業収入② 桑名市				7,050,000			7,050,000		7,050,000
自主事業収入①サンタの行進		4,375					4,375		4,375
自主事業収入②ガチャボン募金		5,500					5,500		5,500
自主事業収入③コーヒー寄付			69,123				69,123		69,123
受取利息							0	32	32
その他収入							0		0
経常収益合計	0	351,149	69,123	7,050,000	49,160	0	7,519,432	30,032	7,549,464

経常費用									
科目	資源循環基盤整備事業	きらきら基金助成事業	他の収益の無い事業	桑名市市民活動センター運営支援	みえNPOネットワークセンター参画支援	缶/パッチ販売	事業費計	事務局費等	総合計
1 人件費									
給与				4,953,700			4,953,700		4,953,700
法定福利費				347,408			347,408		347,408
小計				5,301,108			5,301,108		5,301,108
2 その他経費									
売上原価							0		0
通信費	121,799			224,866			346,665	46,308	392,973
消耗品	20,881		18,796	540,956			580,633		580,633
印刷費	19,632			183,251			202,883		202,883
支払報酬	0				45,000		45,000		45,000
講師謝金							0		0
調査協力金							0		0
外注費	105,684			122,601			228,285	240,000	468,285
荷造運賃							0		0
会議費	16,200			500			16,700		16,700
旅費交通費				213,840	4,160		218,000		218,000
新聞図書費				8,500			8,500		8,500
諸会費					10,000		10,000		10,000
支払手数料	110			13,859			13,969	1,320	15,289
賃借料	28,940			54,020			82,960	1,740	84,700
租税公課							0	2	2
きらきら基金助成金		231,200					231,200		231,200
コーヒー寄付助成金			43,982				43,982		43,982
サンタの行進							0		0
缶/パッチ販売							0		0
雑費							0	0	0
小計	313,246	231,200	62,778	1,362,393	59,160	0	2,028,777	289,370	2,318,147
経常費用合計	313,246	231,200	62,778	6,663,501	59,160	0	7,329,885	289,370	7,619,255
雑損失						5,535	5,535		5,535
経常増減額									
非課税事業	△ 313,246	119,949	6,345				△ 186,952		△ 186,952
課税事業				386,499	△ 10,000	△ 5,535	370,964		370,964
法人管理費								△ 259,338	△ 259,338
当期経常増減額	非課税事業合計		△ 186,952	課税事業合計		370,964	184,012	△ 259,338	△ 75,326
みなし寄附金振替						△ 370,964			
所得金額						0			
地方税						△ 72,000	△ 72,000		△ 72,000
総計			184,012			△ 72,000	112,012	△ 259,338	△ 147,326

#### 4. 用途等が制約された寄付金等の内訳

用途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。

当会の次期繰越正味財産2,822,496円 ですが、そのうち751,256円 は、下記のとおり用途が限定されています。

したがって、用途が特定されていない一般正味財産は、2,071,240円です。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
きらきら基金助成原資への用途指定寄付金	465,197	351,149	231,200	585,146	翌期使用予定助成原資
きらきら基金運営資金への用途指定寄付金	80,060	0	0	80,060	翌期使用予定運営原資
きらきら基金運営資金への用途指定助成金等	86,050	0	0	86,050	翌期使用予定運営原資
合 計	631,307	351,149	231,200	751,256	

#### 用途限定寄付金の内訳

ひとつめは、ふつうに助成原資への寄付

ふたつめの、運営資金への寄付は、切手を換金した金額を入れる

みつめは、きらきら基金の団体助成で、寄付投票された金額を助成金扱いで貯めている

#### 5. 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0